

マテリアリティ	経営戦略	取り組み	成果指標／KPI（2029年度）
テクノロジーとイノベーションを通じた社会課題の解決	イノベーション	・イノベーションの推進による社会課題の解決 ・事業領域の融合とシナジーから新規事業を創出 ・グローバル市場への積極進出による、W/Wでのソリューション提供 ・研究開発体制の強化	・イノベーション売上高：1千億円超 ・営業利益率：5.0%以上 ・X-Tech、新事業売上高：235億円 ・海外関係会社売上高：2024年度比124% ・一人当たり付加価値（売上総利益）の向上
安心・安全な社会と暮らしの実現	サプライチェーン	・サプライヤー管理体制の構築 ・当社ブランドの品質保証体制の構築 ・営業・業務改革による業務品質と生産性の向上 ・需要の変化に対応した環境適応とリスク低減 ・デジタル情報基盤の整備と活用	・一人当たり労働生産性（営業利益）の向上 ・当社責重大不具合件数：0件
	ステークホルダーエンゲージメント	・ブランディング強化 ・I R・S R活動の推進 ・社会貢献活動の活発化	・ブランドに対する対外評価スコアの改善 ・IRミーティング件数：2024年度比2倍 ・社会貢献活動実施回数：実施回数の維持
地球環境との共生		・GHG排出量削減 ・環境配慮製品・サービスの提供 ・自然資本に対する自社の依存度と影響度の把握	・GHG排出量削減／削減量：Scope1・2 2023年度比36%削減 Scope3 2023年度比21%削減 ・環境配慮製品・サービスの売上増加：2024年度比200% ・自然資本に対する自社の依存度と影響度の把握：TNFDに沿った開示の完了
パーパスを体現する人財の育成と活躍を支える環境の整備	人財	・従業員エンゲージメントの向上 ・未来を共創する原動力となる人的資本への積極投資	・エンゲージメントスコア（偏差値）：52ポイント以上 ・女性管理職比率：10%以上 ・従業員一人当たり育成投資額／年：20万円以上
経営資本最適化による循環モデルの実現	財務	・持続的な企業価値向上に資する成長投資の実行 ・財務基盤の堅持 ・適切な成長投資と株主還元の実行による、市場評価(≒株価)を意識した成長循環サイクルの実現	・PBR：1.0倍以上 ・ROE：10%以上 ・ROICの改善およびROICを活用した最適投資の仕組み構築 ・成長ドライバーへの事業投資：250～350億円（2025～2029年度累計）
コーポレートガバナンスの高度化	ガバナンス	・ガバナンスの強化 ・コンプライアンスの徹底 ・リスクマネジメントの進化 ・データの積極活用によるガバナンスの高度化	・取締役会の実効性評価：取締役会実効性評価の改善 ・女性役員比率30%以上 ・変化する事業環境に応じたリスクの低減・回避 ・重大法令違反ゼロ維持